

講座日程

①	東京 5/9 大阪 5/23 11:00~16:30	グループワーク&レッスンⅠ エンゼルケアの手順と技術 大垣麻里 株式会社沙羅 湯灌士	これまで習慣的に行われてきた「詰めもの」などの死後処置は、その後どのような状態にあり、ご家族はどのように受けとめているのでしょうか。ご家族の思いに寄り添うケアの実践のために、退院後の遺体変化やご家族の思いを知り、具体的な医療行為後のケア技術（ルート類抜去部位のケアや滲出液への対応など）を学ぶプログラムです。
②	東京 6/13 大阪 6/27 11:00~16:30	グループワーク&レッスンⅡ エンゼルメイクの手順と技術 大垣麻里 株式会社沙羅 湯灌士	エンゼルメイクの基本から、男性メイク、黄疸メイクなど、メイクのすべてをグループレッスンを通して学んでいただけます。そのほか、創部等へのポイントメイクや綿花を用いて顎を閉じる方法、ヘアスタイリング、ケアに流用できる生体用化粧品の知識など、ほかでは得ることの出来ない、実践者ならではの方法やアイデアが惜しみなく紹介されます。
③	東京 7/11 大阪 7/18 13:30~16:30	特別講座 看取る心 看取る言葉 沼野尚美 ホスピスチャプレン・カウンセラー	ホスピスチャプレン・カウンセラーとして、死を迎える数多くの患者さんやそのご家族の「心のケア」を担当された経験から、さまざまな看取りの場面における「心と言葉」を熱く、やさしく、楽しくお話しいただく、あつという間の3時間です。先生の心、言葉、まなざし、佇まい、エネルギーのすべてを感じ、癒され、ケアへの力を養いましょう。
④	東京 8/22 大阪 8/8 13:30~16:30	説明できるエンゼルケア 小林光恵 作家・エンゼルメイク研究会代表	死後の身体変化を踏まえた遺体管理法を取り入れ、保清や身だしなみの整えを基本として、ご家族の意向に寄り添う「エンゼルケア」。寄り添うケアを提供するには、「声かけ」や「説明」が必要です。一方的ではない、コミュニケーション・スキルをともなったケアのあり方を、事例や具体例を掲げながらわかりやすく、やさしくご説明いただけます。
⑤	東京 9/12 大阪 9/26 13:30~16:30	死のかかわりから、 何を学ぶか 岩瀬博太郎 千葉大学大学院医学研究科附属 法医学教育研究センターセンター長 東京大学大学院医学系研究科法医学教室教授	法医学とは国民の権利維持を目的に作られた「法」が適正に執行されるように、人の死を医学的見地から省察する学問のこと。解剖が目的なのではなく「人のいのちを大切に守る」ためにあるものです。臨床とは異なる立場で「いのちにかかわる医療」の本質を知り、死への援助のあり方のみならず、「医療とはなにか」を考える貴重なプログラムです。
⑥	東京 10/10 大阪 10/24 11:00~16:30	グループワークと講義 エンゼルケア哲学！ エンゼルケアの歴史と 遺族の視点から探る意義 上野宗則 「エンゼルメイク・アカデミア」主宰	「エンゼルケアとは、人間の死に立ち会うとき、なにができるかを都度考えること」。遺族を経験し、少なからず死に向き合ってきた者の目線で、死後ケアの変遷と日本人の死生観を交えながら、「医療が死にかかわる意味」をちょっと哲学的にお話します。グループワークでは、参加者相互が抱えているケアへの疑問や課題を明らかにしていきます。
⑦	東京 11/14 大阪 11/21 11:00~16:30	ランチとカフェをともに “スローデス・カフェ”でつながろう エンゼルケアへの小さなエール 死に立ち会うとき、できること 上野宗則 「エンゼルメイク・アカデミア」主宰	人間の死に立ち会う経験は、医療者であるみなさんにどのような意味をもたらすのでしょうか。半年に渡る学びの旅にもう一度向き合って、死へのかかわりだけではなく、日々のケア業務に変化と確信をつくり出す、1dayセミナーです。ざっくばらんに死について語り合うWS「スローデス・カフェ」、そして、「死に立ち会うときできること」をテーマに、ささやかなエールの言葉を贈ります。ランチとケーキをともにしながら、参加者同志でふれあう、よい締めくりにしましょう。